

大学・高専機能強化支援事業（支援 2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【高等専門学校】実施状況報告書

運営年度	令和6年度	学校コード	G139110110566	改組内容	学科・コース等の設置・増員（高専）
高等専門学校名	高知工業高等専門学校	設置区分	国立	事業計画名	高知工業高等専門学校における情報セキュリティ人材育成の拡充
学校種	高専	都道府県	高知		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和6年度			令和6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
	①情報セキュリティコース教育環境整備（サーバー整備） ②情報セキュリティコースにおける情報セキュリティ分野教育の実施（副業先生 4 名） ③情報セキュリティコース教育体制整備（旅費（副業先生））	①情報セキュリティコース教育環境整備（サーバー整備） ②情報セキュリティコースにおける情報セキュリティ分野教育の実施（副業先生 4 名） ③情報セキュリティコース教育体制整備（旅費（副業先生））		①情報セキュリティコース教育環境整備におけるサーバー整備については、令和7年3月24日に導入が完了し計画どおり実施された。 ②計画以上となる6名の講師による情報セキュリティ分野の教育を実施することができた。 ③教育体制の整備として副業先生への旅費を支給することができた。
令和7年度			令和7年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
	①情報セキュリティコース教育環境整備（ネットワークスイッチ購入） ②情報セキュリティコース教育環境整備（大判インクジェットプリンタ購入） ③情報セキュリティコース教育環境整備（演習室プロシクタ購入） ④情報セキュリティコース教育環境整備（演習室教育用サーバー更新） ⑤情報セキュリティコース教育体制整備（教授1名雇用） ⑥情報セキュリティコースにおける情報セキュリティ分野教育の実施（副業先生 4 名） ⑦情報セキュリティコース教育体制整備（旅費（副業先生））	①令和8年 1月 情報セキュリティコース教育環境整備におけるネットワークスイッチ購入が完了し計画どおり実施された。 ②令和7年11月 情報セキュリティコース教育環境整備における大判インクジェットプリンタ購入が完了し計画どおり実施された。 ③令和8年 2月 情報セキュリティコース教育環境整備における演習室プロシクタ購入が完了し計画どおり実施された。 ④令和7年12月 情報セキュリティコース教育環境整備における演習室教育用サーバー更新は、現状のサーバーを使用することで見送られた。 ⑤令和7年 4月 情報セキュリティコース教育環境整備における教授1名を雇用し、計画どおり実施された。 ⑥令和7年 4月 情報セキュリティコースにおけるセキュリティ分野教育実施担当の副業先生3名を雇用し、計画どおり実施された。なお、計画から1名減であるのは、非常勤講師として雇用したことによる。 ⑦令和7年 4月 上述の副業先生3名を委嘱したことにより、旅費支給が計画どおり実施された。		
令和8年度			令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月 情報セキュリティコース教育体制整備（教授1名雇用） ②情報セキュリティコース教育体制整備（情報系技術職1名雇用） （R8.1.27承認） ②4月 情報セキュリティコース教育体制整備（非常勤講師8名雇用） ③情報セキュリティコース運営体制整備（事務補佐員1名雇用） （R8.1.27承認） ③4月 情報セキュリティコースにおける情報セキュリティ分野教育の実施（副業先生 4 名） ④4月 情報セキュリティコース教育体制整備（旅費（副業先生、非常勤講師）） ⑤7月 新校舎（情報セキュリティ棟）設計（R8.1.27承認）			
令和9年度			令和9年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月 情報セキュリティコース教育体制整備（教授1名雇用） ②情報セキュリティコース教育体制整備（情報系技術職1名雇用） （R8.1.27承認） ②4月 情報セキュリティコース教育体制整備（非常勤講師9名雇用） ③情報セキュリティコース運営体制整備（事務補佐員1名雇用） （R8.1.27承認） ③4月 情報セキュリティコースにおける情報セキュリティ分野教育の実施（副業先生 4 名） ④4月 情報セキュリティコース教育体制整備（旅費（副業先生、非常勤講師）） ⑤2月 新校舎（情報セキュリティ棟）建設（R8.1.27承認） ⑥3月 情報セキュリティコースの教育環境整備（教職員用什器類購入）（R8.1.27承認） ⑦3月 情報セキュリティコースの教育環境整備（演習用PC購入 15台）（R8.1.27承認） ⑧3月 情報セキュリティコースの教育環境整備（サーバー更新）（R8.1.27承認）			
令和10年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月 情報セキュリティコース教育体制整備（教授1名雇用） ②情報セキュリティコース教育体制整備（情報系技術職1名雇用） （R8.1.27承認） ②4月 情報セキュリティコース教育体制整備（非常勤講師10名雇用） ③情報セキュリティコース運営体制整備（事務補佐員1名雇用） （R8.1.27承認） ③4月 情報セキュリティコースにおける情報セキュリティ分野教育の実施（副業先生 4 名） ④4月 情報セキュリティコース教育体制整備（旅費（副業先生、非常勤講師））			
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月 情報セキュリティコース教育体制整備（教授1名雇用） ②情報セキュリティコース教育体制整備（情報系技術職1名雇用） （R8.1.27承認） ②4月 情報セキュリティコース教育体制整備（非常勤講師10名雇用）（R8.1.27承認） ③情報セキュリティコース運営体制整備（事務補佐員1名雇用） （R8.1.27承認） ③4月 情報セキュリティコースにおける情報セキュリティ分野教育の実施（副業先生 4 名） ④4月 情報セキュリティコース教育体制整備（旅費（副業先生、非常勤講師））			
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
	②情報セキュリティコース教育体制整備（情報系技術職1名雇用） （R8.1.27承認） ③4月 情報セキュリティコース教育体制整備（非常勤講師12名雇用） ④情報セキュリティコース運営体制整備（事務補佐員1名雇用） （R8.1.27承認） ④4月 情報セキュリティコースにおける情報セキュリティ分野教育の実施（副業先生 4 名） ④4月 情報セキュリティコース教育体制整備（旅費（副業先生、非常勤講師）） ④3月 情報セキュリティコースの教育環境整備（演習用PC 55台購入（更新）） ⑤3月 情報セキュリティコースの教育環境整備（演習用プロシクタ6台（更新）） ⑥3月 情報セキュリティコースの教育環境整備（大判インクジェットプリンタ 1台（更新）） ⑦3月 情報セキュリティコースの教育環境整備（演習室教育用サーバー更新）			
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
	②情報セキュリティコース教育体制整備（情報系技術職1名雇用） （R8.1.27承認） ①4月 情報セキュリティコース教育体制整備（非常勤講師12名雇用） ③情報セキュリティコース運営体制整備（事務補佐員1名雇用） （R8.1.27承認） ③4月 情報セキュリティコースにおける情報セキュリティ分野教育の実施（副業先生 4 名） ③4月 情報セキュリティコース教育体制整備（旅費（副業先生、非常勤講師、教員確保））			
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
	②情報セキュリティコース教育体制整備（情報系技術職1名雇用） （R8.1.27承認） ①4月 情報セキュリティコース教育体制整備（非常勤講師12名雇用） ③情報セキュリティコース運営体制整備（事務補佐員1名雇用） （R8.1.27承認） ②4月 情報セキュリティコースにおける情報セキュリティ分野教育の実施（副業先生 4 名） ②4月 情報セキュリティコース教育体制整備（旅費（副業先生、非常勤講師、教員確保）） ③3月 情報セキュリティコース教育体制整備（ネットワークスイッチ 24台更新）			
令和15年度			令和15年度自己評価	リストから選択してください。
	②情報セキュリティコース教育体制整備（情報系技術職1名雇用） （R8.1.27承認） ① 情報セキュリティコース教育体制整備（非常勤講師12名雇用） ③情報セキュリティコース運営体制整備（事務補佐員1名雇用） （R8.1.27承認） ②情報セキュリティコースにおける情報セキュリティ分野教育の実施（副業先生 4 名） ①情報セキュリティコース教育体制整備（旅費（副業先生、非常勤講師、教員確保））			

フォローアップ対象年度	令和7年度	高等専門学校名	高知工業高等専門学校
-------------	-------	---------	------------

2. 申請資格の確認

- i) 学生募集停止中の大学
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	i)	ii)	iii)	iv)	v)
すべての項目に該当していない					

3. 申請要件の取組状況

- ① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた高等専門学校であること。なお、新設予定の高等専門学校で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。
- ② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。
- ③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び高等専門学校での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）
- ④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。
- ⑤ 計画の対象となる学科・コース等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。
- ⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る学科・コース等の設置・増員（学科の定員の増員を伴わないものを含む。以下「学科・コース等の設置等」という。）を行う計画であり、学位種類分野変更基準に定める工学関係の学位の分野に係るものであること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学期において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。
- ⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学科・コース等の設置等の取組であること。
- ⑧ 機構による事業計画の選定があった日から2年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学科・コース等の設置等を行う計画であること。
- ⑨ 計画の対象となる学科・コース等の設置等において、20名以上の入学定員の増員を行う計画であること。
- ⑩ 国立高等専門学校について、学校全体の収容定員の増員を伴う学科定員の増員を行う場合は、定員増を行った日から10年を経過した日までに、他学科・他コース等を中心に同規模の定員減を行う計画であること。
- ⑪ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。
- ⑫ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・AⅠ教育プログラム認定制度における「リテラシーレベル」の認定を受けていること。

上記項目の①～⑫の申請要件について、 令和7年度 の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
すべての項目が要件を満たしている											

①～⑫の要件を満たしていない又は対象でない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑫については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑫について	現在の状況
⑫文部科学省が実施する数理・データサイエンス・AⅠ教育プログラム認定制度における「リテラシーレベル」の認定を受けていること。	認定を受けている

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
・高専機構本部と協定を締結している外部教育資源（ビズリーチ、さくらインターネット）との連携による実務家教員（副業先生やエンジニア（本校客員准教授））など実務家教員による実践的な講義を継続して実施し、また、以下の各講義や実習等を実施する。 ・高専で専攻した知識や技術を活用して地域課題の解決に取り組む科目である「地域協働演習」において、地元企業の課題を調査し解決に向けた提案や技術実装などを実施。 ・警察庁四国管区警察局長からサイバー犯罪に対する監講に関する実習、STNet（高松）からネットワークに関する出前授業を実施。 ・サイバーセキュリティに関する協定締結先である高知県警並びに高知県警警察学校への情報セキュリティに関する教育活動を実施する。 ・南国市、高知みらい科学館で実施するイベントで、本校の情報セキュリティコースの学生が製作した、プログラミングや情報セキュリティに関する教材、各種アプリケーションなど卒業成果物の評価などを行ってもらう。 ・本校と連携協定を締結している高知みらい科学館において、本校学生および教員による小中学生対象の科学実験教室を実施する。 ・本校で実施した情報セキュリティの最前線に関する副業先生の授業を、地元企業の方に聴講していただき、地域の情報セキュリティに関する意識および技術の向上を図る。	令和7年度における取組実績は以下のとおりである。 ・高専機構本部と協定を締結している外部教育資源（ビズリーチ、さくらインターネット）との連携による実務家教員（副業先生やエンジニア（本校客員准教授））など実務家教員による実践的な講義を、情報セキュリティコース4年の「情報セキュリティセミナー」、情報セキュリティコース5年の「情報セキュリティマネジメント」で実施した。また、以下の各講義、実習等を実施した。 ・4年生170人が47班に分かれて地元企業や行政・団体等と協働した活動に取り組み、遠方での調査や取材においてはICT技術を用いた遠隔による指導や調査も実施した。高専で専攻した知識や技術を活用して地域課題の解決に取り組む科目である「地域協働演習」において、高専の近辺に集る戦争遺跡に対して情報技術を活用した展示方法の提案などを実施した。また、タブレット端末で操作できるお菓子搬送機を開発し、ものメイッセKOCHI2025においてブースグランプリを受賞した。 ・令和7年12月17日に、警察庁四国管区警察局長からサイバー犯罪に対する監講に関する実習を、情報セキュリティコース3年の「情報工学実験Ⅰ」において実施した。 ・令和7年8月28日に、高知県警本部のサイバー専科の警察官約10名を対象として、本校教員が情報セキュリティに関する講義と実習を実施した。 ・専攻科1・2年生授業「システムデザイン演習ⅠおよびⅡ」において南国市中学校への情報教育支援を行うための教材作成を実施した。教材作成に当たっては、南国市教育委員会事務局と南国市の4中学校の技術科教員との意見交換や学習指導案の評価などを受けながら実施した。その後、技術科教員および市教委が高知高専へ訪問し、作成した講座資料を用いての模擬授業と評価を行った。の中で、実際の資料使用時における留意事項等、中学校の現役教員との意見交換と評価が実施されている。 ・連携協定を締結している高知みらい科学館において、科学実験教室・プログラミング教室・ロボット体験講座等を令和7年度は11件実施するなど積極的に活動を展開している。 ・情報セキュリティコース4年の「情報セキュリティセミナー」において、実務家教員の講義を地元企業の方に聴講していただき、意識及び技術の向上を図った。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
・県内、近郊県外中学校を訪問し、本校の実践的教育を説明する<令和4年度実績：67校 生徒764名、保護者・教員325名>。 ・高知県内校を対象とした中学・高専連絡会において、教員を対象として本校の実践的な教育を説明して志願者を増やす<令和4年度実績：本校会場 45校、四万十会場 12校>。 ・体験入学（中学校3年生対象<令和4年度実績：中学生 186名、保護者 150名>）、キャンパスツアー（中学生対象<令和4年度実績：中学生 49名、保護者等 39名>）、オープンキャンパス（小中学生、保護者対象<令和5年度実績：生徒および保護者等 804名>）においてセキュリティコンテストの実施等を行い、情報セキュリティへの興味を持たせ、志願者を増やす。 ・教員等が小中学校へ訪問して30テーマ程度を提供する出前授業を行い、本校の取組を説明する<令和4年度実績：10件実施>。 ・星廟祭（高専祭）に来場者となる小中学生に向けて、本校学生による体験紹介（志望動機・本校でこれまで学習した内容・進路・受験生へのアドバイスなど）を行う。また、情報セキュリティコースでの卒業研究の紹介を行う。 ・高知県教育センターと共催し、小学校・中学校・高等学校教諭への情報教育支援を行う。 ・連携協定を締結している南国市小学校・中学校への情報教育支援を行う。 ・全国の中学生を対象とし、「高専に挑もう！中学生向けCTFオンラインコンテスト」を実施、併せて本校情報セキュリティコースを紹介し、県外から情報セキュリティについて高い技術を持つ志願者を増やす<令和5年度実績：1回実施 28名参加>。	令和7年度における取組実績は以下のとおりである。 ・県内、近郊県外中学校を訪問し、本校の実践的教育を説明した<令和7年度実績：県内59校 県外4校 生徒609名、保護者・教員369名>。 ・高知県内校を対象とした中学・高専連絡会において、教員を対象として本校の実践的な教育を説明した<令和7年度実績：本校会場45校、四万十会場 7校>。 ・体験入学（中学校3年生対象<令和7年度実績：中学生 160名、保護者 140名>）、キャンパスツアー（中学生対象<令和7年度実績：中学生 47名>）、オープンキャンパス（小中学生、保護者対象<令和7年度実績：生徒および保護者等 891名>）において情報セキュリティに関する体験学習を行った。 ・令和7年度の出前授業は、県内全域の小中学校において23件実施された。 ・星廟祭（令和7年11月9日実施）の来場者に対する体験紹介として、各コースから代表学生も選出し、集合形式で学校紹介を実施した。また、本校情報セキュリティコース5年生による体験紹介の講演を行った。さらに、情報セキュリティコースの各研究室で取り組んでいる卒業研究の紹介を行った。 ・令和7年8月29日に、講義と演習を通じてプログラミングへの理解を深め、教育指導力の向上と教材作成についての知見を得てもらうことを目的とした「プログラミング教育研修講座」を高知県教育センターとの共催事業の公開講座として開催し、高知県内の小中高の教員10名が参加した。 ・連携協定を締結している南国市立中学校技術科教員と本校学生が早期から連携し、計3回プログラミング教育の授業検討を行い、プログラミングについて専門とする学生と、学習指導を専門とする教員が協議をすることで、授業の質を高めるとともに、学生にとっては中学生に分かりやすくするための工夫について学び、教員にとってはプログラミングの専門的な内容について学ぶ機会となった。また、検討した授業案に基づき、令和7年11月14日（金）に南国市立番長中学校において、「古典暗号を理解する」、12月13日（金）に南国市立鷹が池中学校において、「オトとオゾですべてを解決！論理演算の仕組み」を出前授業として実施し、情報教育への支援を行った。 ・全国の中学生を対象としたCTFオンラインコンテストではなく、本校に來校できる中学生を対象とした「CTF競技を体験してみよう!」を開催し、中学生と保護者に向けて本校情報セキュリティコースを紹介し、情報セキュリティについて高い技術を持つ志願者を増やすべく活動した。<令和7年度実績：1回実施20名（保護者9名含む）参加>。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
・本校女子学生組織TGK（Techno-Girls of Kochi kosen）により、高知県内商業施設を会場とした「レジョウ広場」、「高知みらい科学館」において小中学生を対象とした科学実験教室を実施している。これらTGKのイベント参加者は、TGKの活動に取り組みたいと本校に入塾している例もあり、本校の女子学生確保につながっている。また、令和5年度には、TGKが日産財団主催 第12回理科教育賞・第6回リカジョ育成賞グランプリを受賞しており、また、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の次世代人材育成事業「令和5年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に本校が採択された。JST事業により、県内の大学、企業、教育委員会と連携し、女子中高生に向けた講演会・座談会、体験教室、職場訪問や科学イベントの企画運営を行っており、小学校・中学校・高等学校の生徒たちが女性技術者・研究者の道へ進む支援をする環境整備を行う。 また、サイバーセキュリティに関する協定締結先である高知県警の警察学校への情報セキュリティに関する教育活動や本校で実施した情報セキュリティの最前線に関する副業先生の授業を地域に開放し、地域の情報セキュリティに関する意識および技術の向上を図っている。 さらに、情報セキュリティコースでは既に1名程度留の留学生を受け入れており、現在、「暗号理論」など一部科目では、日英二か国語による教材を作成し、留学生に提供している。今後、日英二か国語による教材作成の拡大を進め、留学生をより受け入れやすい環境を整える。	・女子学生組織TGKが主体となって実施している科学教室等のイベントは令和7年度に13回実施され、のべ800人が参加した。この取組実施をうけて「令和8年度入学推薦入試（令和7年1月実施）」では、女子生徒の志願者が31.9%と昨年度に引き続き30%台を維持しており、女子の推薦入試志願者比率が増加していることが確認できた。令和8年度新入学生においても概ね女子学生の比率は、増加傾向にあるといえる。なお、令和7年8月24日開催の「講演会・座談会」に参加した当時中学三年生7名のうち、3名が令和8年度本校に入学した。JSTの支援プログラムや本校独自の取組が理系進路に関する情報提供の場として有効であったことがうかがえる。令和8年度も活動は継続予定であり、高知工科大学を中心とした諸機関との連携により理系進路選択のための環境整備を進めいく。 ・令和7年8月28日に、高知県警本部のサイバー専科の警察官約10名を対象として、本校教員が情報セキュリティに関する講義と実習を実施した。情報セキュリティコース4年の「情報セキュリティセミナー」において、実務家教員の講義を地元企業の方に聴講していただき、意識及び技術の向上を図った。 ・情報セキュリティコース3年生の「情報代数」「暗号理論」5年生の「情報セキュリティマネジメント」では日英二か国語のテキストを作成し、留学生に英語のテキストを配布した。また、授業・試験で使用する教材は二か国語で作成している。留学生の進級に併せて対象科目を増やすことができた。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
高知高専はサイバーセキュリティ教育の実施実績を有し、独立行政法人国立高等専門学校機構本部が設置するサイバーセキュリティ教育推進センター（K-SEC）を主体的に運営する。具体には、拠点校として、サイバーセキュリティ人材育成及び地域のサイバーコミュニティ等外部機関との連携に寄与する。 また、国立高専間で現在、「単位互換制度」により互いの授業を学生が聴講し、単位を取得できるようになっており、現在、本校は「暗号理論」を提供している。「暗号理論」は本校では3年生科目であるが、他高専では一部の学校で専攻科で開講している程度である。また内容は本校のものが他校よりも充実している。本事業により授業内容を充実させ、今後さらに情報セキュリティに関する提供科目を増やしていく。一方で学生育成のために他高専の提供科目の受講も促していく。 また、高知大学理工学部情報科学科との連携を推進する。本校と教育カリキュラムが大きく異なるため、双方の強みを活かして、本校の卒業研究の共同指導、本校卒業後の編入による継続的な共同研究の実施などを計画している。 さらに、現在、本校と連携協定を締結している兵庫県立大学及び情報セキュリティ学院大学による特別講義、出前授業を開講している。長崎県立大学の教員により卒研指導をいただいている。これらの取り組みを今後も継続していく。	・K-SECのMCC Plus拠点校事業セキュリティ関連外部組織との連携として、慶應義塾大学大学院砂原秀樹教授とGenPit&K-SEC連携打合せ、経済産業省商務情報政策局サイバーセキュリティ課及び情報技術利用促進課（ITイノベーション課）デジタル人材政策室課長補佐 野本氏と今後の高専におけるセキュリティ人材育成について意見交換、第3回高専次世代教育カンファレンスに参加、JNSA下村氏とセキュリティ人材育成に関する情報交換、一般社団法人日本量子コンピューティング協会伊吹氏と量子コンピュータセキュリティに関する意見交換を実施した。 ・MCC plus拠点校におけるサイバーセキュリティ人材育成（授業実践）として、後期授業「情報セキュリティマネジメント」と「情報セキュリティセミナー」を企業エンジニアおよび副業先生担当により実施、情報系単位互換科目に関する打ち合わせ（木更津高専 一業特命教員、高知高専西内教授、岩崎准教授、赤松教授）、「情報セキュリティセミナー」について、新年度の授業を担当する企業のセキュリティエンジニア等と打合せを行った。 ・サイバーコミュニティ等外部機関との連携として、高知県警警察学校向け出前授業、高知県警サイバーボランティアの協力依頼の打合せを実施した。 ・高知大学理工学部及び大学院総合人間自然科学研究科修士課程理工学専攻と教育研究交流に関する協定を締結し、それぞれの教育及び研究資源を有効に活用することを通じて高度情報専門人材育成への寄与が可能となった。令和8年度入学の本校からの編入者が1名いるため、今後のさらなる継続的な共同研究を検討している。 ・兵庫県立大学の教員および大学院生による、特別講義、出前授業については、受講希望者無しのため開講されていない。	

高等専門学校名	高知工業高等専門学校	改組内容	学科・コース等の設置・増員（高専）
---------	------------	------	-------------------

2.情報系組織の状況

[illegible]

高等専門学校名	高知工業高等専門学校	改組内容	学科・コース等の設置・増員（高専）
---------	------------	------	-------------------

3.高等専門学校全体の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
	入学者合計	入学定員（A）	人	160	160	160																
		入学者数（B）	人	168	171	182																
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.07	1.14																
	収容定員等	収容定員（C）	人	800	800	800																
		編入学定員	人	0	0	0																
		在籍者数（D）	人	822	822	839																
		編入学者数	人	11	2	7																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.03	1.03	1.05																

4.外部資金の状況（全学）

年度		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	86,941	68,840																	

特記事項

高知高専のソーシャルデザイン工学科の学生定員160名は変更せず、令和8年度入学生から、情報セキュリティコースにおける基本学生数を32名から52名に増員する。 入学してから2年間所属のコースを定めないため、定めのない期間は入学定員を入学者数とみなし、2.情報系組織の状況 学生の入学・在籍状況の入学者数を回答している。 2.情報系組織の状況 学生の入学・在籍状況の収容定員等の編入学定員0人とは、若干名を意味している。 3.高等専門学校全体の状況 学生の入学・在籍状況の収容定員等の編入学定員0人とは、若干名を意味している。
--